（家庭数配布）

学校だより
緑地っ子
令和４年（2022 年）
１２月７日
豊中市立緑地小学校
校　長　中森　啓之

今年もあとわずかです。

１年の最後の月、１２月に入っています。あと少しで今年も終わりです。ところで、よく「歳をとると１年を早く感じる。」と言いますが、なぜだか考えられたことはありますか？私は以前この疑問をネットで調べたことがあります。正解かどうかは分かりませんが、あるサイトに次のような情報がありました。「一定の時間を長く感じるかどうかは、刺激の数による。」と。どういうことかと言いますと、若いうちは日々起こることが初めて経験することばかりで、それを「刺激」と感じる。しかし、歳をとると日々起こることも大抵は過去に経験したことばかりなので「刺激」としては感じなくなる。若いうちは刺激がたくさんあるので時間を長く感じるが、歳をとると刺激がポツポツとしかないので、同じ時間でも早く過ぎるように感じる、ということです。

このことから「同じ生きるなら、時間を長く感じたい！」という人は常に新しいことにチャレンジし、より強い刺激を感じればいいということになります。ちなみに、新しいことにチャレンジするのを妨げる言葉があります。それは「①前例がない②他にやっている人がいない③誰が責任をとるのか」です。ちょっと空しくなってしまいますね。

可能性のある子どもたちには、どんどん新しいことにチャレンジしてより強い刺激を求めていってくれることを期待しますし、私自身、来年も新たな刺激を求めてチャレンジし続けたいと思います。

◇コドモンの運用についてお願い

本年６月１日から運用しておりますコドモンについて、お願いがございます。５月30日付「保護者と学校との連絡システム『コドモン』の運用について」でお知らせしております通り、<u>コドモンでご連絡は欠席遅刻に関してのみ</u>となっております。中には、友だち関係等のご相談をコメント欄に記入される方もおられますが、<u>欠席遅刻・体調以外にご連絡につきましては、従来通り、連絡帳や電話等による連絡をお願い致します。</u>

◇ジョギングタイム　楽しくやっています！

１０月よりスタートしたジョギングタイム（４年生以上対象）、毎回、楽しく走っています。日によって人数は変わりますが、だいたい30人くらいの子どもたちが参加しています。最初は運動場内をグルグル回っていたのですが、少し気分を変えたいということと、ちょうどその時間、放課後子どもクラブの子どもたちが運動場で遊ぶ時間にもなっていて、接触してケガをしてもいけませんので、学校の東側にある松林の歩道を走ることもあります。松林では散歩をしている方もおられますが、それほど人数が多いわけでもなく、また信号もありませんので快適です。ずいぶん先の話ですが、いずれは暑い夏がやってくるわけで、そう考えると日差しを避けることもできそうです。

中には、友だちが楽しそうに走っている様子を見て、「自分も参加したい。」と言ってくる子もいます。ジョギングタイムを立ち上げる時には、保護者の方に「参加票」を提出していただきましたが、途中からの参加の場合は右の「参加確認票」さえ提出していただければ参加可能ですので、ぜひお子様にお声掛けください。多くの子どもたちの参加を待っています！（参加確認票は校長室に置いてあります。いつでもどうぞ。）

緑地小学校
ジョギングタイム参加確認票
（　）年（　）組　名前（　　）

◇体調をご確認の上、当日に印またはサインをお願いします。

月日（曜）	保護者印（サイン）	担当者印	月日（曜）	保護者印（サイン）	担当者印
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		
／（）			／（）		

◇「先生方のおすすめの本」があります。

図書委員会（５・６年生）の企画で、現在、「先生方のおすすめの本」が図書館前に陳列されています。私もそのうちの１人として「数学受験術指南」という本を推薦しておきました。これは京都大学の有名な数学の先生である森毅さんが書かれた本です。タイトルからはいかにも受験競争をあおるようなイメージが感じられますが、実はそうではなくて、京都大学の入試の採点風景を詳細に伝えることにより、大学の先生がどのような答えを求めているのか、また、そこに至るまでにどのような学習を積み重ねていく必要があるのかが分かるようになっています。小学生が読むにはかなり難しいので、「高校生くらいになったら読んでほしい。」とコメントをつけておきました。保護者の皆様も、お時間があればお読みください。そうすれば、子どもたちが小学生である今の「覚える」より「考える」経験が後々活きてくること、そして、自分が知っていることを人に明快に伝えるコミュニケーション力もつけていかなければ学力としては意味がないことも分かっていただけると思います。ぜひ、お薦めします。